

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 膵癌における代謝免疫間相互関係の解明

研究の目的

膵癌の治療成績の向上は世界的課題です。近年、新たな膵癌治療戦略として代謝標的治療が注目されています。私達のグループは、同じ膵癌の診断でも、症例毎に膵癌細胞の栄養代謝状態が様々異なること、その違いが手術後成績と関連することを報告しました。

動物実験によって、癌細胞と免疫細胞が栄養を奪い合い、その結果が腫瘍免疫力に影響することが報告されています。そこで、膵癌症例間での栄養代謝状態の違いが、抗腫瘍免疫能の違いにつながるのでは？との着想に至りました。以上より、膵癌細胞における栄養代謝状態の違いと呼応する抗腫瘍免疫の違いを明らかにすることを本研究の目的とします。

研究実施期間： 実施許可日 ～ 2027年3月31日

対象となる方： 2014年から2018年に当科において膵癌に対して手術をされた方を対象とします。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

通常診療の範囲内で得られた既存の試料・情報を使用します。新たに検査や治療を追加するものではありません。当院のカルテを利用し、病歴、年齢、性別、血液検査、画像検査、手術関連情報、切除組織の病理所見、術後経過についての情報を収集し、標記研究課題実施のために利用します。また、既存の試料を用いて蛋白発現、リボ核酸発現をしらべ、腫瘍内の免疫細胞の数やその機能を解析します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータの

みを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学大学院医学研究科 消化器外科学講座 客員研究員 小笠原 健太 電話 0172-39-5079
--------------	---